

日根野中だより

令和5年4月21日発行 日根野中学校長 武田 博之

～～心の免疫力を高める～～

思いやりに触れる…よき言葉…よき教えに出会うことが大事

この三年間、いつまでこの感染症が続くのかと考えてきました…。でも、歴史上人間は何度も同じような危機に遭遇しながら、その都度その危機を乗り越え、今日まで歩んできた事実があります…。つまり、現在の状況は必ず克服できると、歴史は自分たちに教えてくれていたのだと思います。そのために大事してきたものは何か…？

感染症のウイルスは、身体に忍び込み、発症させましたが、同時に人間の心にも忍び込む特性を持っているように感じました。困難に耐え、我慢し、克服しようと努力する心を蝕んでしまうかのような力がある…そう感じました。だから…心身の健康…身体はもちろん「心」の免疫力を高めることが大事…。その何よりの特効薬となったのが、他人の思いやりに触れること…。よき言葉…よき教えに触れること…。また、感謝すること…、感動することも「心」の免疫力を高める大きな要素だったように感じます。

要は与えられた条件の中で、与えられた命を大切に生き続けること…。諦めずへこたれず前向きに…。鳥は飛ばねばならぬ…人は生きねばならぬ…もう一度、考えてみましょう！

「鳥は飛ばねばならぬ…」：坂村真民（さかむらしんみん）

鳥は飛ばねばならぬ / 人は生きねばならぬ / 怒濤の海を飛び行く鳥のように / 混沌の世を生きねばならぬ / 鳥は本能的に暗黒を突破すれば / 光明の島に着くことを知っている / そのように人も 一寸先は闇ではなく / 光であることを知らねばならぬ…

新しい年を迎えた日の朝 / わたしに与えられた命題

鳥は飛ばねばならぬ / 人は生きねばならぬ…

「言葉」は「空気」…心配り

「言葉」…は人間社会を埋め尽くすくらい存在しています。そう考えると、「言葉」は人間にとって、自然界に存在している「空気」と一緒だと思います。人間の体にとって、自然いっぱいの中で生まれた「空気」を吸い込むと、間違いなく元気になってきます。体だけでなく、心までも健康になってくるはずです。そう考えると、本当に「言葉」・「言葉がけ」には、相当な配慮がいることがわかりますね。良くない言葉・配慮のない言葉を耳で聞き、心で聴き続けてしまうと、まず「心」が蝕まれ病んでくる…不健康な状態になってしまう…。心が病んでしまうと、必ず体の健康も損ねてしまうことに…。だから今、少し余裕が出来た今だからこそ、お互い言葉に注意しませんか？…「ありがとう」…と素直に発することができる、気持ちを意識しませんか…。感染症と最前線の現場で、日々頑張ってくれた人達のことを考えるたびに、そんなことを考え、今自分は、どんな言葉をかけるべきなのかを考えてしまいます。

昨日の授業参観ありがとうございました！：今後の行事についてのお知らせです

今年度は、学校行事もコロナウイルス感染症が流行する前の形へ、大幅に戻していこうと考えています。この3年以上の間、今の状態にまで回復させることが出来た「生活様式」については、これからも大事に意識していかなければなりません。家庭訪問の実施については、昨年度以上に、元のやり方へ近づけていこうと判断しましたが、すべて元通りではなく、あくまで保護者のみなさまの選択に委ねる方法をとらせていただきました。来週24日からスタートします。よろしくお願いいたします。授業参観とPTA総会については、昨日20日に実施させていただきました。授業参観は4年ぶりの実施…。私がこの中学校に赴任してきてから初めての実施となりました。特に1年生は、学校に定着することが大事な時期でもありますので、どのように感じられましたか？焦る気持ちも、もちろん理解できますが、学校としましては、徐々に「中学生」として育ててくれるよう見守っていきたいと考えています。PTA総会につきましては、「記録」や「記憶」を頼りに元通りに実施を試みました。次年度以降どのように継続していけばいいのかを考えていきます。コロナ禍でも「オープンスクール」は、期間を設け実施してきましたが、今年度もできる限り保護者のみなさんに、学校へ来ていただける機会として計画したいと思っています。授業参観日での参加が難しい方も多かったのではないのでしょうか？ある一定の期間設けますので、是非ともご参加ください。日時・期間等、決定次第ご連絡させていただきます。よろしくお願いいたします。

人間の体は
食べた物で作られる…だから
しっかり食べよう！！
人間の心は
聴いた言葉で作られる…
人の言葉を耳と目と心を受けよう！！